

令和2年5月7日

保護者様

大阪市教育委員会  
こども青少年局  
大阪市立下新庄小学校  
校長 塩見 優

令和2年5月11日からの臨時休業期間の延長について（お知らせ）

平素から本校の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、先に令和2年5月10日（日曜日）まで臨時休業期間の延長をお知らせしたところ  
です。このたび、政府が「緊急事態宣言」の延長を受け、幼児児童生徒の感染  
予防の徹底を図るため、大阪市立の全ての幼稚園・小学校・中学校について、改めて**令和  
2年5月11日（月曜日）から5月31日（日曜日）まで臨時休業を延長**させていただきます。

ただし、安全面に最大限配慮を行ったうえで、臨時休業中においても、登校園日を設定  
いたします。

つきましては、保護者の皆様におかれましてもご理解賜り、これまでと同様にご家庭で  
のお子様の健康状態の把握（健康観察表への記入を含む）及び心身の健康と安全、安心へ  
の配慮、感染症予防の指導等について、よろしくご理解ご協力を重ねてお願い申しあげ  
ます。

また、どうしても家庭でお子様の監護ができない場合や、お子様が一人で留守番ができな  
い等の場合の平日の居場所の確保等についても、これまでどおり実施します。（通常のいき  
いき活動は休止していますが、連携して対応します。）

なお、新型コロナウイルス感染症に伴う「緊急事態宣言」に係る対応については、日々  
状況が変化しているため、変更が生じる場合があります。その折は、改めてお知らせい  
たしますので、よろしくお願い申しあげます。

## 記

### 1 臨時休業期間の延長

・**令和2年5月11日（月曜日）～5月31日（日曜日）を臨時休業とします。**

（5月10日までとしておりました臨時休業期間を延長します。）

臨時休業期間中に、登校園日を設定します。

※ただし、臨時休業の期間や範囲等については、国の緊急事態宣言や大阪府域の感染  
状況等により、変更する場合があります。

2 臨時休業期間中の登校園日の設定について

・5月11日(月曜日)～15日(金曜日)に1回、5月18日(月曜日)～29日(金曜日)においては、週に2回の登校園日を設定します。

- ・感染症予防のため、基本的には、学年・学級等を分割のうえ、1教室の人数を減らして実施します。第1回目の登校園日については、各学校園のホームページ等でご確認ください。
- ・また、小学校1年生(中学校1年生、新入園児)は入学(園)にかかるオリエンテーションを5月11日の週に実施する予定ですので、各学校園のホームページ等で併せてご確認ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、学校園の登校園日を急遽中止することがあります。その場合、学校園のホームページでお知らせしますので、定期的にご確認いただきますようお願いします。
- ・登校園日については、給食は実施しません。
- ・登校園日には、必ずマスクを着用するようお願いいたします。マスクの色・柄は問いません。なお、小・中学校の児童・生徒においては、初回の登校日に、文部科学省から配付されているマスクをお渡しします。幼稚園においては、幼児へのマスク配付について、現在進めているところですが、マスクの供給不足が続いていることから、改めてお知らせします。なお、ご家庭でのマスクの準備においては、市販のマスクの確保が困難な場合は、手作りマスクの作成・使用についてもご協力ください。
- ・登校園日には、お子様の体温等健康状態を記入した健康観察表をお子様を持たせてください。学校園で健康観察表の確認をいたします。

3 幼児児童等の学校園での居場所の確保等について

- ・保護者の仕事などの事情で、どうしても家庭で子どもの監護ができない場合や、子どもが一人で留守番ができない等の場合は、学校園で居場所の確保を行い、その後、児童いきいき放課後事業・一時預かり事業に引き継ぎます。
- ・保護者が仕事を休まれる等、家庭でお子様の監護が可能な方は、ご協力をお願いいたします。
- ・なお、給食は実施されませんので、お弁当が必要な場合はご持参ください。お弁当のご用意が難しい場合は、予め学校園にご相談ください。
- ・マスクを着用いただくなど、可能な範囲で感染症対策に努めてください。

4 家庭での日常の健康状態の把握のお願い

- ・臨時休業期間中は、ご家庭で、毎朝、体温を測る等、お子様の健康状態のご確認をお願いします。健康状態の確認に際しては「健康観察表」を使用し、ご家庭で記載いただくとともに、4週間分は保管いただくようお願いいたします。また、登校園日には必ずお子様を持たせるようにしてください。
- ・お子様が、次の状況になった際は、学校(園)に電話等でご連絡のうえ、家庭での休養をお願いします。登校園日・預かりへの参加はご遠慮ください。授業日(保育日)では

ありませんので、欠席扱いとはなりません。

① お子様、新型コロナウイルスの感染が判明した場合、もしくは新型コロナウイルスの感染の疑いによりPCR検査（核酸増幅法検査）を受検することとなった場合

② お子様、保健所等から濃厚接触者と認定された場合

③ お子様と同居されているご家族が、保健所等から濃厚接触者と認定された場合

④ お子様、発熱等のかぜの症状が見られる場合

具体的には、微熱(普段の体温より高い状態)・発熱(体温が37.5度前後より高い状態)以外に、咳・呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、におい・味がしない、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐等、平常と異なる体調がみられる場合

- ・登校園日、居場所の確保・児童いきいき放課後事業・一時預かり事業中に発熱等の症状がみられた場合は、お迎えをお願いしますので、連絡を取れるようにお願いします。
- ・上記④の場合で、お子様の健康状態に、次のいずれかの症状が確認された場合は、「新型コロナウイルス受診相談センター」(電話番号：06-6647-0641)へご相談願います。

・強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)、高熱がある。  
・かぜの症状や発熱が続いている(解熱剤を飲み続けなければならない時を含む)。  
基礎疾患等のある方は、症状があれば速やかに。

- \* 新型コロナウイルス受診相談センターに相談し、受診を勧められた医療機関がある場合は、その医療機関を受診ください。(複数の医療機関を受診することは、お控えください)
- \* 医療機関を受診するときは、マスクを着用し、手洗いや咳エチケット(咳やくしゃみをするときは、マスクやティッシュを使って口や鼻をおさえる)の徹底をお願いします。

## 5 家庭生活における留意事項

お子様の健康確保について努めていただくとともに、以下についてご留意いただきますようお願いいたします。

- 計画的な家庭学習や家族の一員として家事の手伝い等にとりくむことができるようお願いいたします。
- 「緊急事態宣言」が延長されておりますことから、不要不急の外出を避けるとともに、外出が必要な際も人が集まる場所や交通機関の利用をできるだけ避けるなど、感染予防に努め、健康に十分注意してください。
- 日々のお子様の心身の状況の変化に気を配るとともに、お子様への声かけや会話を通して、心身の健康と安全安心への配慮をお願いします。
- スマートフォン等のインターネットが利用できる機器には有害サイトアクセス制限サービス(フィルタリングサービス)を設定する等について、すでにお問い合わせしているところですが、スマートフォンやゲームなど、過度な使用とならないよう、家庭においてお子様との話し合いを通じてルールづくりに努めていただきますようお願いいたします。
- 家庭において保護者が不在になる場合は、火気の取扱いに十分注意するとともに、

確<sup>かく</sup>実<sup>じつ</sup>な施<sup>せ</sup>錠<sup>じょう</sup>を<sup>おこな</sup>行<sup>い</sup>い、訪<sup>ほう</sup>問<sup>もん</sup>者<sup>しや</sup>へ<sup>たい</sup>の対<sup>たい</sup>応<sup>おう</sup>は<sup>ひか</sup>控<sup>ひか</sup>え<sup>る</sup>よう注<sup>ちゆう</sup>意<sup>い</sup>喚<sup>かん</sup>起<sup>き</sup>を<sup>ねが</sup>お願<sup>ねが</sup>い<sup>し</sup>ま<sup>す</sup>。

- お<sup>こ</sup>子<sup>こ</sup>様<sup>さま</sup>の健<sup>けん</sup>康<sup>こう</sup>保<sup>ほ</sup>持<sup>じ</sup>の観<sup>かん</sup>点<sup>てん</sup>か<sup>ら</sup>、運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>不<sup>ぶ</sup>足<sup>そく</sup>やス<sup>す</sup>ト<sup>と</sup>レ<sup>れ</sup>ス<sup>を</sup>解<sup>かい</sup>消<sup>しょう</sup>す<sup>る</sup>た<sup>め</sup>に<sup>おこな</sup>行<sup>い</sup>う<sup>うん</sup>運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>の<sup>き</sup>機<sup>かい</sup>会<sup>かい</sup>  
を<sup>かく</sup>保<sup>ほ</sup>す<sup>こ</sup>と<sup>も</sup>大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>で<sup>あ</sup>る<sup>と</sup>考<sup>かん</sup>え<sup>て</sup>お<sup>り</sup>、日<sup>に</sup>常<sup>じょう</sup>的<sup>てき</sup>な<sup>うん</sup>運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>（<sup>じょ</sup>ジ<sup>ョ</sup>ギ<sup>ン</sup>グ<sup>、</sup><sup>さん</sup>散<sup>さん</sup>歩<sup>ぽ</sup>、<sup>な</sup>縄<sup>な</sup>跳<sup>と</sup>び<sup>な</sup>ど）<sup>を</sup>安<sup>あん</sup>全<sup>ぜん</sup>な<sup>かん</sup>環<sup>かん</sup>境<sup>きょう</sup>の<sup>もと</sup>下<sup>もと</sup>で<sup>おこな</sup>行<sup>い</sup>っ<sup>て</sup>い<sup>た</sup>だ<sup>き</sup>ま<sup>す</sup>よ<sup>う</sup>お願<sup>ねが</sup>い<sup>し</sup>ま<sup>す</sup>。た<sup>だ</sup>し、一<sup>いち</sup>度<sup>ど</sup>に<sup>お</sup>お<sup>ん</sup>に<sup>ず</sup>う<sup>あ</sup>つ<sup>ひ</sup>と<sup>み</sup>っ<sup>し</sup>ゆ<sup>う</sup>す<sup>る</sup>こ<sup>の</sup>な<sup>い</sup>よ<sup>う</sup>配<sup>はい</sup>慮<sup>り</sup>を<sup>ねが</sup>お願<sup>ねが</sup>い<sup>し</sup>ま<sup>す</sup>。

## 6 新<sup>しん</sup>型<sup>がた</sup>コ<sup>ろ</sup>ナ<sup>う</sup>イ<sup>い</sup>ル<sup>ス</sup>感<sup>かん</sup>染<sup>せん</sup>症<sup>しやう</sup>の<sup>よ</sup>予<sup>ぼう</sup>防<sup>ぼう</sup>

ご<sup>か</sup>家<sup>てい</sup>庭<sup>てい</sup>の<sup>みな</sup>皆<sup>さま</sup>様<sup>で</sup>、新<sup>しん</sup>型<sup>がた</sup>コ<sup>ろ</sup>ナ<sup>う</sup>イ<sup>い</sup>ル<sup>ス</sup>感<sup>かん</sup>染<sup>せん</sup>症<sup>しやう</sup>の<sup>よ</sup>予<sup>ぼう</sup>防<sup>ぼう</sup>に<sup>つと</sup>努<sup>つと</sup>め<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。

- 十<sup>じゅう</sup>分<sup>ぶん</sup>な<sup>すい</sup>睡<sup>みん</sup>眠<sup>で</sup>、適<sup>てき</sup>度<sup>ど</sup>な<sup>うん</sup>運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>、バ<sup>ら</sup>ン<sup>ス</sup>の<sup>と</sup>れ<sup>た</sup>食<sup>しょく</sup>事<sup>じ</sup>を<sup>こころ</sup>心<sup>が</sup>け<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。
- 手<sup>て</sup>洗<sup>あら</sup>い<sup>たい</sup>が<sup>せつ</sup>大<sup>だい</sup>切<sup>せつ</sup>です。外<sup>がい</sup>出<sup>しゅつ</sup>先<sup>せん</sup>か<sup>ら</sup>の<sup>き</sup>帰<sup>か</sup>い<sup>じ</sup>時<sup>じ</sup>や<sup>ちよう</sup>調<sup>てう</sup>理<sup>り</sup>の<sup>ぜん</sup>前<sup>ぜん</sup>後<sup>ご</sup>、食<sup>しょく</sup>事<sup>じ</sup>前<sup>まえ</sup>、ト<sup>と</sup>イ<sup>い</sup>レ<sup>れ</sup>後<sup>ご</sup>、咳<sup>せき</sup>や<sup>く</sup>く<sup>し</sup>や<sup>み</sup>、鼻<sup>はな</sup>を<sup>あ</sup>か<sup>んだ</sup>後<sup>あと</sup>な<sup>ど</sup>に<sup>こ</sup>ま<sup>め</sup>に<sup>り</sup>ゆ<sup>う</sup>す<sup>い</sup>と<sup>せつ</sup>石<sup>せき</sup>鹼<sup>けん</sup>で<sup>て</sup>手<sup>て</sup>を<sup>あら</sup>洗<sup>あら</sup>っ<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。
- 咳<sup>せき</sup>な<sup>ど</sup>の<sup>しやう</sup>症<sup>じやう</sup>状<sup>じやう</sup>の<sup>か</sup>あ<sup>る</sup>方<sup>かた</sup>は、咳<sup>せき</sup>エ<sup>チ</sup>ケ<sup>ット</sup>を<sup>おこな</sup>行<sup>い</sup>っ<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。
- 1<sup>じ</sup>～2<sup>じ</sup>時<sup>じ</sup>間<sup>かん</sup>に<sup>いち</sup>度<sup>ど</sup>、5<sup>ぶん</sup>～10<sup>ぶん</sup>分<sup>ぶん</sup>程<sup>てい</sup>度<sup>ど</sup>窓<sup>まど</sup>を<sup>おお</sup>大<sup>おお</sup>き<sup>く</sup>開<sup>あ</sup>け、室<sup>しつ</sup>内<sup>ない</sup>の<sup>くう</sup>空<sup>くう</sup>気<sup>き</sup>を<sup>か</sup>入<sup>い</sup>れ<sup>か</sup>替<sup>か</sup>え<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。
- 換<sup>かん</sup>気<sup>き</sup>を<sup>れい</sup>励<sup>り</sup>行<sup>こう</sup>し<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。
- 不<sup>ふ</sup>要<sup>よう</sup>不<sup>ふ</sup>急<sup>きゅう</sup>の<sup>がい</sup>外<sup>がい</sup>出<sup>しゅつ</sup>を<sup>ひか</sup>控<sup>ひか</sup>え<sup>て</sup>い<sup>た</sup>だ<sup>く</sup>と<sup>と</sup>も<sup>に</sup>、持<sup>じ</sup>病<sup>びやう</sup>の<sup>か</sup>あ<sup>る</sup>方<sup>かた</sup>等<sup>など</sup>は、で<sup>き</sup>る<sup>だ</sup>け<sup>に</sup>人<sup>ひと</sup>ご<sup>み</sup>の<sup>お</sup>多<sup>た</sup>い<sup>ばし</sup>場<sup>じやう</sup>所<sup>じやう</sup>へ<sup>の</sup>外<sup>がい</sup>出<sup>しゅつ</sup>を<sup>ひか</sup>控<sup>ひか</sup>え<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さ<sup>い</sup>。と<sup>と</sup>くに、①密<sup>みつ</sup>閉<sup>ぺい</sup>空<sup>くう</sup>間<sup>かん</sup>で<sup>かん</sup>換<sup>かん</sup>気<sup>き</sup>が<sup>で</sup>き<sup>な</sup>い、②人<sup>ひと</sup>が<sup>お</sup>多<sup>た</sup>く<sup>あ</sup>つ<sup>ま</sup>る、③近<sup>きん</sup>距<sup>きよ</sup>離<sup>り</sup>で<sup>の</sup>会<sup>かい</sup>話<sup>わ</sup>や<sup>ほ</sup>つ<sup>せ</sup>い<sup>が</sup>行<sup>おこな</sup>わ<sup>れ</sup>る、の<sup>3</sup>3<sup>つ</sup>の<sup>じやう</sup>条<sup>じやう</sup>件<sup>けん</sup>が<sup>どう</sup>同<sup>どう</sup>時<sup>じ</sup>に<sup>かさ</sup>重<sup>じゆう</sup>なる<sup>ばし</sup>場<sup>じやう</sup>所<sup>じやう</sup>は<sup>さ</sup>避<sup>さ</sup>け<sup>ま</sup>し<sup>ま</sup>う。